



赤味の強い個体

騒ぎは通常2〜3日で終わり、水溜りの底は16〜26mのひも状の卵のうでおおわれます。1匹の雌が産む卵のうは2本で、中には3千2百〜4千2百個の卵が入っています。

蛙合戦は芦ノ湖の湖尻水門付近では、春の冷え込みや降雪により大幅に遅れた年を除くと、80年代は4月10日前後に始まっていましたが、90年代後半からは4月上旬に始まっています。おとしは4月1日に始まり、今年あたりは3月末に始まるかも知れません。地球温暖化の影響は箱根の力エルにも及んでいるのです。

なお、箱根山地では赤い模様が出る個体もいて、時には写真のような鮮やかな個体も見られます。

冬は眠りから目覚めたばかりの水辺は、クッククツクツ……といふ無数の鳴き声と、ガサガサと枯れ草を踏み鳴らすたくさんのヒキガエルの姿で異様な光景になります。周辺の道路にも、産卵場に向かうヒキガエルの姿が見られ、中には雌に抱きついている気の早い雄もいます。名前はアズマヒキガエルで、筑波山の四六のガマと同じ種類です。

水中では、雌の脇の下をしつかり抱きしめたペアがいる一方、雌に次々に飛びつき、ライバルをけ飛ばし合っています。産卵場での雌の数は雄の数の1と少なく、雌をめぐる雄たちの争いが俗に言う蛙合戦なのです。

雄は手当り次第に飛びつくので、大部分は雄に抱きつくことになりませんが、雄は脇の下に触られるとクツクツクツと鳴くようになっていきます。そこで相手が雄だと気付いて離れるのです。

## ふるさとの仲間たち

### 箱根生きもの図鑑 (34) アズマヒキガエル



アズマヒキガエルの蛙合戦

## とっておきの1枚 拝見!

小田原市 山口高司さんより

1月号のこの欄に掲載された、館野さんの写真を拝見して、同じ小田急箱根湯本駅乗り入れ記念仮装大会に私が参加した「猿回し」の写真を母からもらったうちの一枚です。

特選ではなく、何等であったか覚えておりませんが、とっておきの一枚です。



皆さんの思い出や記念の写真を募集しています。詳しいことは企画課にお問い合わせください。

## わが家のちびっ子



わかば 鈴木 若葉 ちゃん(2歳10か月)

則義・美幸さんの長女(宮城野)

♥お母さんからひとこと  
「人の気持ちがわかる子に育ててください。」

### 町の人口と世帯

人口	14,877 (-23)
- 3月1日現在 -	男 7,033 女 7,844
( )内は前月比	世帯 7,215 (-8)



R100  
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

ごみ減量標語 リサイクル 未来のための 思いやり